

年頭のごあいさつ

イオン健康保険組合
理事長 渡邊 廣之



新年あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族の皆さまには、健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

今、健康保険組合は大きな変革期を迎えています。2025年12月2日をもって健康保険証は完全にマイナ保険証に移行し、従来の健康保険証は使用できなくなりました。さらに「団塊の世代」が全員75歳以上の後期高齢者となり、医療・介護の需要増とともに、高齢者医療制度を支える拠出金への負担はさらに厳しくなっています。また、2026年度からは新たに「子ども・子育て支援金制度」が始まり、健康保険組合が代行して支援金を徴収することになります。

このような状況の中、「国民皆保険制度」の持続性を確保するためには、制度を支える私たち一人ひとりの行動がますます重要となります。皆さまには以下のような取り組みをお願いいたします。

- 健康維持・予防の実践**：毎年の健診受診、健診で異常があった際の病院受診、特定保健指導への参加、食生活の改善、運動習慣の定着、禁煙の実践など、日々の生活の中で病気を未然に防ぐ行動をとることが、医療費の抑制につながります。
- 医療の適正利用**：軽度な症状では先ずかかりつけ医や薬局で相談し、必要以上の受診や薬の使用を控えることで、医療資源の有効活用が可能となります。当健康保険組合の健康相談を利用していただくことで、受診や薬の相談もできます。
- マイナ保険証の活用**：医療情報の一元化による診療の効率化と、医療費の適正化、健康保険料の適正化につながります。
- 制度の理解**：給与明細で自分の健康保険料を知ることや、健康保険組合の広報等を通じてしくみや現状を理解することが、持続可能な社会保障の基盤となります。

イオングループは、健康経営で従業員とご家族の健康をサポートし、従業員とともに地域社会の健康と幸せを実現することを目指しています。健康保険組合は、皆さま所属の各企業と連携して、引き続き健診事業や健康づくり支援を通じて、皆さまの健康維持・増進をサポートするとともに、保険料という大切な財源を有効に活用し医療費の適正化、健全な組合運営に努めてまいります。イオンで働きながらみんなで「元気UP」となる健やかな一年にしていきましょう。

